

葉坂チマ

よるくも

月のない空

夜の雲を眺めている

キンと冷えた曖昧な藍の色

かきまぜて

かきまぜて

大きく息を吐いた

季節が覚えてくれている

掌に浮かぶ

ふわりとした白い幻

さようなら

あしたはくるけれど

あなたはもういない